

1日使えるバスマット

中之条・バースケア開発



新開発のバスマットを紹介する
飯尾社長

バスマット製造販売のバースケア(中之条町伊勢町、飯尾守社長)は、1日1枚の使用で交換不要なバスマットを開発した。温泉旅館や日帰り温泉施設などでは種類によって1日にマットを3〜8回程度交換している。サービスマンの人手不足が指摘されるなか、機能性の高いマットを導入することで交換の手間を省き、リネン費用の削減につなげてもらう。

交換減らし人手カバー

新たに開発したバスマットは、吸水マット、保水マット、乾燥下敷きシートを重ねた3層構造。水を素早く吸水するだけでなく、水が上層に戻るのを防ぐ。吸水マットの表面を凹凸の形状にするこ

とで足裏の接触面積を減らし、びしょぬれになる感じを減少させる。新たなバスマットは、ぐんま新技術・新製品開発推進補助金の採択を受け、群馬産業技術センターと共同開発した。来年早々に商品化する。

り、マットの乾燥を早めるといふ。衛生面の不安感や不快感を解消するため、吸水と保水の各マットには抗菌効果のある純銀糸を抗菌アクリル糸に組み合わせた。銀糸が見えている間は効果が持続しており、安心して使ってもらおう。

上 毛 新 屋

る。業務用は70センチ×130センチで9千円程度を想定。2月に東京ビッグサイトで開かれる展示会で本格的にPRする。飯尾社長は「温浴施設はコストを下げるに、びしょぬれ感のないマットで足元のサービスマンも向上できる」とアピールしている。